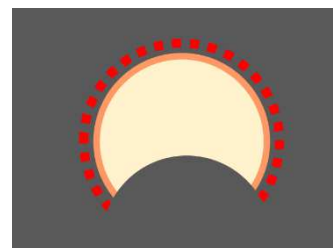


EARTH ECO MAIL MAGAZINE アース・エコ メールマガジン

特定非営利活動法人
アース・エコ
メールマガジン No.11-3
2020年6月21日(夏至)

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

県境をまたぐ移動制限も解除になり、国内観光客は徐々に回復と報じられていますが、COVID-19の心配が消えた訳ではなく、梅雨空のように鬱陶しい雰囲気にも包まれた気分の方も多いのではと思います。せめて今日は空を見上げて日食見物でもと思いますが空模様が気になります。



日食 with Corona

新しい生活様式 with Corona

2月下旬に3月例会の中止を決めてから4か月。この間、アース・エコは事実上の活動中止が続いています。感染すると重症化リスクが高いとされる高齢者の

多いアース・エコ。Stay home、巣ごもり生活が続く中、どんな「新しい生活様式」で過ごしているのか5名の会員に近況を紹介してもらいました。

増えた読書

新型コロナ騒動は終息し、感染ピークアウト後に発令された、緊急事態宣言は解除された。5月に計画していた神戸への孫訪問の旅は早々に諦めた。生活リズムは概ね通常通り。3か月ぶりに利用した電車で100%のマスク着用で再認識した同調社会の国民性。ボランティア活動などほとんど中止になり在宅時間は増え、カラダも成長してしまった。読書は増えた。40年前に買った半村良『太陽の世界全18巻』を再読しながら殆ど憶えていないことが妙に嬉しい。台湾にも興味があった。戦前の日本統治時代の台湾の人々

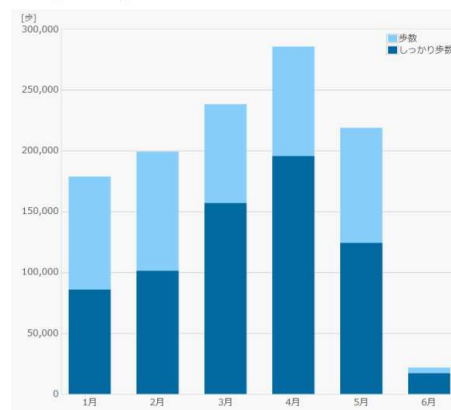
が感じた『台湾人と日本精神』本は忘れかけていた日本のこころを思い出す。ところで、コロナ騒動は一体何だったのか、の疑問の声がネット上に喧しい。メディア社会とは裏腹に現実社会は、花粉症も風邪・インフルも影を潜めていた。何とも不思議である。最近、誘われてZOOM(ズーム)を覚えた。新しい生活様式に近づいたのだろうか。 [吉田]



1日1万歩を目標に

これまでに経験したことのない自粛生活が3月から始まり、3か月半が経過した。この間、これと言って有意義な過ごし方は見い出せず、楽しみと言えば近隣の「散歩」くらいである。幸いにも、我が家の周辺には中小規模の公園が多数点在しており、公園巡りの散歩を日課としたが、飽きがくることはなかった。散歩の中で、特に今年の桜は3月中旬から4月上旬まで、例年より長く楽しませてくれた。大勢での花見宴会は叶わなかったが、公園のベンチに座り、缶ビールを片手にひとり花見を何度も満喫できた。どのくらい歩いたか、改めて散歩した「歩数」を整理してみた。3月は23.8万歩、4月は1日1万歩を目標にして28.5万

歩、惜しくも1日平均1万歩に届かなかった。5月は、4月の疲労も出てややペースダウン、21.9万歩で





あった。それでも 3 か月間の合計は、74.2 万歩となり自己最高を記録した。万歩での表現はピンと来ないので、自分の平均的な歩幅 75cm を掛けて計算してみると、なんと 556.5km も歩いていたことになる。自

中にこんなにも動き回っていたのかと、我ながら少々驚いている。

6 月から学校が再開し、経済活動も戻りつつあるが、筆者のような高齢者はまだまだ自粛生活が続く。梅雨入りで蒸し暑くなり、日中の散歩が難しい季節になった。これからの自粛生活をどう過ごすかが目下の課題である。 [鈴木]

新生活スタイルの出現！

「新〇〇」とか「初〇〇」という言葉に、私たちは何と関心を寄せることだろうか。ある種の憧憬や弱さも持っている。この度の新型コロナウイルス危機にも、どこでいつ感染するかわからないということでみんなが緊張状態になった。新型コロナウイルスの蔓延は、見えないからこそむやみに怖がりパニック的ともいえる状況である。テレビ、新聞をはじめ情報機関は日ごとの数字を流し、政府をはじめ、行政も日ごとの対策を報道した。国や県は、その対策から、国民への対応の呼びかけとして様々な具体的な生活スタイルの



呼びかけがなされた。

マスク着用や手洗いの習慣は、個人のこととして日本の文化には定着しているが、ある政治家が「民度が高い」などという言葉を持ちだした。「郷に入っては郷に従え」の言葉があるが、「サンミツ＝密集、密閉、密接」を避けるなんていう言葉が生まれ、呼びかけは礼儀作法などの様式も変わるかもしれない。その土地の自然発生的な慣習なら言うに及ばないが、あくまでも強制や流行に乗ることではなく、そのスタイルの是非を考えていく必要がある。今後、新生活スタイルの登場が見られるだろうが、定着するか一時の流行となるか冷静に見極めていきたい。 [西]

危なかったんですかね

不要不急の海外旅行を控える公報が出されるなか、決行すべきか躊躇したもののキャンセル料の誘惑に負け、予定通り 3 月初旬に 1 週間、ロンドンとコッツウオルズの旅を決行しました。

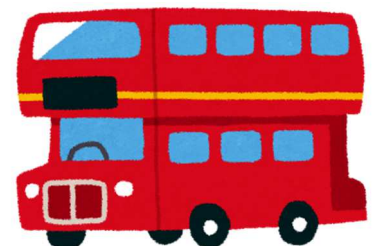
出発直前の英国の新型コロナ感染者数は約 50 名で、徐々に広がりを見せていたもののヒースロー空港到着時のコロナ関連の検疫は一切なく入国できました。現地ではマスクを着用した人々を見かけず、マスクの着用が反って目立つ状況であったものの極力マスクの着用を心掛けました。ロンドン中心街であるピカデリサーカスは昼夜を問わず大勢の市民や観光客でカオス状態でした。また、滞在したホテルのバーや併設されたフィットネスクラブは利用者で溢れ、まさに三密状況でした。

今回の旅の目的は、50 年前のロンドンの記憶を辿ること、EU 離脱直後のロンドンの雰囲気を感じること、ロンドンから 150km 西にあるコッツウオルズ地方(中世の独特な雰囲気を持つ村々が点在する丘陵地帯)に絵の素材を求めることでした。詳細は省きますがそれぞれの場所で若干緊張感はあったもの

の印象に残る旅でした。

現地滞在中にも各国への加速度的なコロナ感染が報道されていました。帰国時、羽田空港の検疫に不安を抱えるも、特段の検査もなく無事帰国できました。帰宅後、自主蟄居を開始しました。2 週間経過後、英国で外出規制があり、その後、チャールズ皇太子やジョンソン首相の感染報道等があり、感染の脅威を改めて感じざるを得ません。ロンドン滞在中、コロナ感染の拡がりは既にあり、たまたま感染しなかっただけで、「危なかったんだね」と自問自答の日々です。

最後に、新たな敵と日々戦い続ける医療機関の方々の命を懸けた懸命な取り組みと多方面で支援されている方々に心から感謝致したいと思います。なお、娘が約 2 か月リモートワークで弊宅に居ましたが、この間の家族の在り方について改めて思惟することありの日々でした。 [矢島]



Stay home で思うこと



やっと、自粛生活に慣れてきたようです。我慢しているという感覚が少なくなり、このスタイルでも過ごせると思うようになりました。今まで、何かに追われて、追い立てられている感じでした。

今まで以上に、道ばたや庭などの

植物に癒やしを求めている自分がありました。親しみを持って雑草などにふれあっています。庭の雑草であってもとても素敵です。タツナミソウに始まり、今やホタルブクロとネジバナです。自然のものは気取りがなく、部屋の中で静かに咲いて、和ませてくれます。とってきた野の花とともに、ゆったりした時間の流れの中で過ごすのもまたいいですね。 [林]

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に日々努力されている医療関係者の皆様に心より敬意を表します。

メールマガジンは不定期に発行します

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響で活動日数の大幅減少が予想されます。今までは活動報告がない時は研究レポートなどを掲載しましたが、今年度はそれも難しくなると考えます。

今まで二十四節気に合わせて、年 24 回発行しましたが、今後は特にご報告することがなければ休刊とし、不定期に発行しますので、ご了承ください。



これからの活動予定

感染症拡大防止のため9月下旬まで例会・勉強会を含む活動を休止しています。活動再開が決まりましたらお知らせします。詳しくは事務局にお問合せください。earth.eco.jimukyoku@gmail.com

例会・勉強会

7、8月は例会・勉強会を中止します。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。

⇒ earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申し込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodomanabi/shiminkyodo/shien/yumefund/fund.html>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで
earth.eco.jimukyoku@gmail.com